

解説 第2弾

介護予防・日常生活支援総合事業 担い手 研修スタート!

前号でお知らせしたように、これまで介護保険制度によって基準とサービス内容が決められていた、要支援者のホームヘルプサービス(訪問介護、デイサービス(通所介護)が介護保険から外され市町村の事業に移行します。寝屋川市と門真市・守口市(くすのき広域連合)では、新しい

寝屋川市 家事支援員 研修

家事支援を必要とする高齢者に、掃除や買い物、調理などを行う。在宅支援員を育成するための研修が開始されます。

■受講対象者 寝屋川市内の訪問型サービス(基準緩和)の指定申請(予定)をされている事業所で、2017年度から働く意思のある人。
■受講料 無料
■申込先 けいはん医療生協みいヘルパステーションなど
■日程等 時間帯 いずれも午前10時~午後5時
場所 市立保健福祉センター

- ① 3月7日、10日
- ② 3月13日、15日
- ③ 3月21日、23日



カリキュラム

- 職務の理解
- 老化の理解
- 介護における尊厳の保持・介護の基本
- 認知症への理解
- 介護におけるコミュニケーション技術
- 生活支援技術
- 修了評価と振り返り



門真市・守口市 くすのき広域連合 生活援助サービス 従事者研修

■受講対象者 守口市・門真市・四條畷市に在住の方、各3市における訪問型サービスA(緩和型)実施予定の事業所に従事する方(従事予定)であり、後者の事業

所従事者等が優先されます。
■受講料 500円
■日程 2月の研修は終了しました。今後の予定は順次発表されます。



けいはん医療生協は介護保険制度の拡充運動に取り組みと共に、介護難民を生みださない視点から、総合事業への積極的な対応を検討しています。

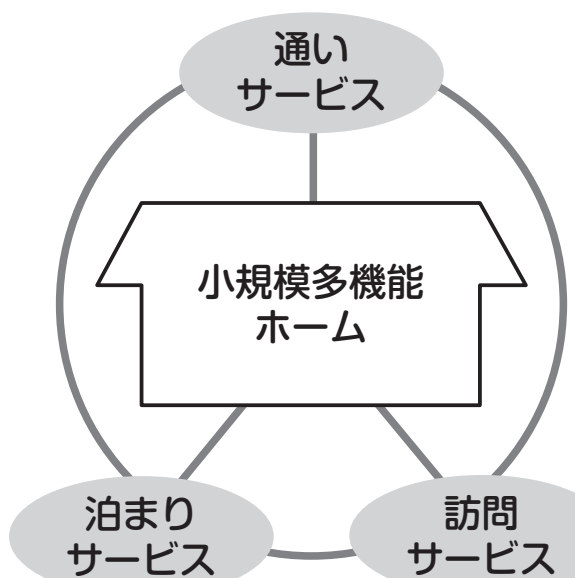
あなたの生活を支えます 小規模多機能居宅介護



小規模さつき 100歳お誕生日会

けいはん医療生協には3つの小規模多機能型居宅介護があります。寝屋川市の「だんらん」、門真市の「はすね」、守口市の「小規模さつき」です。

今、自宅で介護が必要になると、住みなれたわが家を離れ、家族や友人たちとも別れ、遠く離れた施設へという現実があります。わが家の近くに、安心して「通う」場所があり、緊急時や夜間の「訪問」、必要に応じて「宿泊」ができる「24時間・365日の安心」の居場所「もうひとつのわが家」があります。



や状態に合わせて臨機応変に、その時、その人にあった「支え方」を提供することができ、気軽にご相談下さい。

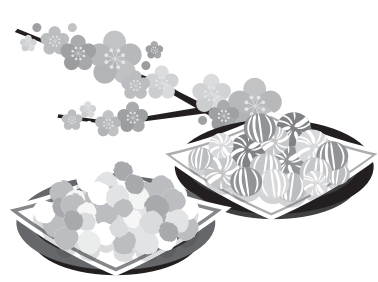
- だんらん ☎072-835-8881
- はすね ☎072-884-6366
- 小規模さつき ☎06-6991-4400

3月3日は雛祭り

古代中国では、3月3日に手足を洗って身を清めることで災いから逃れる行事が行われており、それが平安時代に日本に伝わり、人形に災いを託して川に流す「流し雛」が始まりました。江戸時代には、人形で遊ぶ「ままごと」が子ども達のな

かでブームとなっており、それと結びついて現在の雛人形スタイルとなりました。雛人形は雛祭りが終わったら必ず片づけなければ「婚期が遅くなる」といつい伝えがあまり、桃の葉を入れた風呂に入

り無病息災を願っていました。現代の雛祭りも「子どもがすくすくと大きくなりますように」「悪いことが起きませぬように」と願い、桃の花と人形を飾りますが、これは千年以上のいわれがあることなのです。



健康・生活 豆知識

No.17

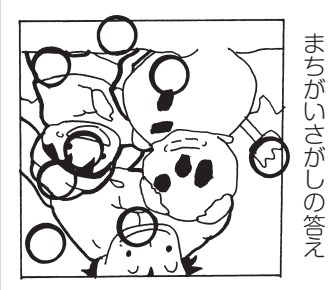


いこいの家 なりたの雛飾り

「流し雛」の名残りだと言われています。雛祭りは「桃の節句」とも呼ばれます。由来はこれも古代中国にさかのぼります。中国では桃の花は魔除けの力があると考えられており、桃の花を浮かべたお酒を飲み、桃の葉を入れた風呂に入

trend style)

伝言板



- 法律相談(要予約) 3月24日(金) 14時
- 072(882)5025
- 日曜健診 みい診療所 072(835)0600 3月12日

介護スタッフ大募集

- ・介護福祉士
- ・実務者研修修了者
- ・初任者研修修了者
- ・ヘルパー2級

生協だから、充実の福利厚生!

- 勤務地▶寝屋川・門真・守口市内の
- ・定期巡回・随時対応型訪問介護看護
 - ・訪問介護
 - ・小規模多機能型居宅介護 他
 - *勤務時間は応相談(パート職員)
 - *普通免許所持者歓迎
 - *詳細は面談の上
- ・看護師
勤務地▶寝屋川・門真・守口市内の
・診療所 ・訪問看護 ・介護施設

無資格は応相談 働きながら資格取得も可能!

問い合わせ: けいはん医療生活協同組合
門真市上島町38番8号
電話 072-882-5093
平日(9時~17時)担当: 満若・山田

けいはん医療生協ニュース 編集委員大募集

けいはんニュースは、編集委員会で議論して企画をたて、組合員にできるだけわかりやすい記事(うしろ)を目指しています。締め切ります。興味のある方は、まず組織部にご連絡ください。

前号訂正
2月1日号3面特定健診の記事、「PSP(前立腺がん)」を「PSA(前立腺がん)」に訂正いたしました。

支部・班・組合員・事業所 みんなのひとくみ

茶処にじ バレンタインカフェ 開催 2月10日



談笑する参加者



こんにちは、茶処にじです。あさひ事業所2F、虹のひろばで、2カ月前にカフェを開いていまして、2月は「バレンタインカフェ」。

4月でまる1年となる「茶処にじ」。食事会や落語会も企画したいね、と話しています。一度お立ち寄りください。小さな学習会や演芸を盛り込んで参加の人々との談笑を楽しんでください。お待ちしています。虹のひろば企画委員会 委員長 矢野まさみ

にこにこ班学習会開催



にこにこ班 真剣に話を聞く参加者

2月9日、みどり診療所の看護師さん二人を講師に、「糖尿病って何で体に悪いの?」と題して、学習班を10名で開催。大きな文字のレジュメにそって、高血糖とインスリンの関係、改善の方法等について話をしていた。食品別カロリー表示などで正しい食事のとりかたなどを学びました。質問がたくさんだされ、大変好評でした。今回は糖尿病の方の食事レシビを題材とする予定です。門真西支部 班長 塚本 和江

地域包括支援センターと協力してカラダの体操



自然に笑顔も増えました

12月に第6地域包括がら、くすのき広域連合が進めている転倒予防の「カラダ体操」(から

だこころの体操)を、ホームさつきでもやってほしいと依頼がありました。包括で体操のDVD、地域配布・回覧用チラシを準備して頂き、1月より毎週水曜日10時45分~30分間開催しています。入居者の方や喫茶つきにいられている地域の方も参加され最初は10人程でしたが、少しずつ増えてきています。体を動かす「気持ちいい」「すっきりした」歌体操楽しい。又来るわ」と喜ばれています。さらに、地域に開かれた施設づくりを目指していきます。ホームさつき 部長 大上ひろみ